

お知らせ

村職員の募集

平成五年四月に採用する山古志村職員を次のとおり募集します。
〔職種および採用人員〕
一般事務 若干名

〔受験資格〕

山古志村に住所を有し(有することとなる者を含む)、昭和四十六年四月二日から五十年四月一日までに生まれた者で、平成五年三月までに高等学校卒業または卒業見込みの者。
ただし、次のいずれかに該当する者は、受験できません。
一、日本の国籍を有しない者
二、禁治産者および準禁治産者
三、禁こ以上の刑に処せられ、その執行を終るまで、またはその執行を受けることがなくなるまでの者
四、日本国憲法施行の日以後において、日本国憲法またはその下に成立した政府を暴力で破壊することを主張する政党、その他

の団体を結成し、またはこれに加入した者
〔試験の方法〕
第一次試験

地方公務員としての必要な一般的知識及び技能について教養試験として、択一式による筆記試験及び作文試験を行います。
〔教養試験は、高校卒業程度の内容で行います。〕
第二次試験
面接試験を行います。

〔試験日、試験場及び時間割〕
第一次試験
平成四年九月二十日(日)
会場及び時間は申込者に通知します。
第二次試験
第一次試験の合格者に日時・会場を通知します。

〔合格者の決定〕
第一次試験に合格し、第二次試験を受けた者の中から合格者を決定します。
〔受験申込み〕
平成四年八月二十日(木)までに次の書類を添えて役場総務課に申し込んでください。
(1)受験申込書(用紙は役場総務課に用意してあります)
(2)写真三枚(たて四センチ・よこ三センチ)

※不明な点は、役場総務課にお問い合わせください。

統計データ

から見る山古志

事業所統計調査

昨年の七月一日に行われた、平成三年事業所統計調査の結果によると、山古志村の民営事業所数は一三〇となり、前回(昭和六十一年)にくらべ三事業所増加しました。また、従業者総数は八六五人と前回と比べると三八人(五%)増加しています。
産業分類別従業者数は建設業が二六七人で全体の三〇・九%を占め、次いでサービス業が二〇九人(二四・二%)、製造業が一八〇人(二〇・八%)、卸売・小売業、飲食店が二五五人(二九・三%)となり、この四つの産業で全体の八九・二%を占め、運輸・通信業が三一人(二・六%)、その他が七二人(八・二%)となっています。
構成比を前回と比べると、建設業が八ポイント、卸売・小売業、飲食店が三ポイント、サービス業が〇・八ポイントそれぞれ増加したのに対し、製造業は二・九ポイントと大きく減少しているのが目につきます。
一事業所当り従業者数は五・六人ととなり、前回と比べると〇・二ポイント増加しました。

「旧種中」の伝統はほくたちで！
組立て体操を披露・種小児童



人口のうごき ■人口 2,864人(+3) 男 1,440・女 1,424 ■世帯数 785(±0)
(4.5.31現在) ■5月中のうごき □出生2 □死亡2 □転入7 □転出4

所得証明・評価証明・納税証明などは……

区分	申請先	申請人	申請に必要なもの・手数料
納税証明	税務課	本人(代理は委任状等が必要)	▷印鑑 1件 200円
所得証明	〃	〃	〃
課税証明	〃	〃	〃
営業証明	〃	〃	〃
車検用納税証明	〃	本人	▷検査証 無料
臨時運行許可	住民課	誰でもよい	▷印鑑▷車検証▷自賠責保険証 1件 520円
評価証明	税務課	本人(代理は委任状等が必要)	▷印鑑
台帳登録証明	〃	〃	土地3筆増すこと・建物1棟までそれぞれ 200円
公課証明	〃	〃	▷印鑑 同一年度の一税目ごと 200円
資産証明	〃	〃	▷印鑑 土地3筆までごと、建物1棟までそれぞれ 200円
台帳等閲覧	〃	〃	〃 1件 200円
公函閲覧	〃	誰でもよい	〃 1件 200円 (コピー-B4 20円、B5 15円)

くらしのガイド

学校週五日制の導入

個性や創造性を伸ばす教育が狙い

平成四年九月実施

今年の二学期から「学校週五日制」が実施され、月一回、第二土曜日が休みになります。明治以来、一世紀以上にわたって続いていた週六日制にピリオドを打つことになりました。

学校は月曜日から土曜日まで通うもの—いま、この当然のような制度が変わろうとしている。月一回の学校週五日制が実施される学校は、全国の国公立の幼稚園、小学校、中学校、高等



学校、盲・ろう養護学校です。また、私立の学校にもできるだけ歩調をあわせるよう協力が求められています。では、なぜ土曜日を休みにするのでしょうか。社会全体が多様化し、大きく

実施に向けての「影響と対策」

文部省では、この制度の実施に向けて、二年前から全国六十八校をモデル校にして、「研究」をしてきました。その結果から、制度の実施による家庭、学校、地域への「影響と対策」は次のとおりです。

家庭では

子どもが親と一緒に過ごすなかで、生き方や生活の知恵を学ぶようにすることが大切です。しかし、共働き家庭の子どものや保護のある子どもへの配慮も忘れてはなりません。例えば、子どもは学校が休みだけれども、親が働いているため午前中は子ども一人になってしまいます。

学校では

これまで六日間で学習していたことを五日間で学ぶことは、かえって子どもに負担がかかるのではないかと問題があります。これに対して学校では、授業のカリキュラム編成や指導方法を工夫するようにしています。

地域では

休みにあっても、何をすればよいか分からない、あるいは、活動の場所がない。これでは意味がありません。

そのため、学校にある施設の開放や公共施設の整備・充実を進めること、そして、大人のサポートが必要となってきます。例えば、周りの大人がいろいろなプログラムを考え、そのなかから、子どもの自主性にまかせ、責任をもって取り組ませるというようなことです。

社会全体で

子どもたちを見守ろう

今後、学校週五日制の定着を図っていくうえで、学校、家庭、地域社会がいままで以上に連携を深め、一体となって問題の解決に取り組む必要があります。休日が増えることによって、子どもたちの生活が活気あるものになるように、社会全体で見守り、対策を考えていきたいと思います。



テレビコンピュータ教室(池谷小)

六月定例村議会 十六案件を可決承認

平成四年第 四回村議会定例会が六月十七・十八日の両日開かれ、議案七件、同意案一件、報告一件、諮問一件、発議案五件がそれぞれ原案どおり可決承認されました。主な内容は次のとおりです。

条 例

▼職員定数条例の一部改正 村長の事務部局の職員定数を六三人から六六人に改正したのをはじめ、教育委員会の所管する学校職員数を十二人から六人に、農業委員会の事務部局の職員数を三人から二人にそれぞれ改正を行いました。

▼国民健康保険条例の一部改正 保険料の賦課限度額を四四万円から「四六万円」に、低所得者の保険料算出の控除額が二万円から「二万五千円」にそれぞれ引き上げました。

▼村議会議員及び村長の選挙公報発行に関する条例の制定 選挙公報は、当該選挙時に候補者の氏名、経歴、政見等を写真とともに掲載して有権者に配布するので、次回の選挙から発行される

ることになりました。

人 事

▼収入役の選任同意 現収入役の星野仙嗣さん(五九歳)の再任が同意されました。星野さんは今度二期目を務めます。



そ の 他

▼購買契約の締結

ふれあい会館「あまやち」新築工事請負契約を一億二、八七五万円、また、虫亀地区簡易水道新設工事請負契約は三、九一四万円、いずれも柳大石組とそれぞれ締結することが可決されました。

補正予算

▼一般会計補正予算(一号) 新農村地域定住促進対策事業や中山間地域農村活性化総合整備事業などで、国の事業費配分が減額されたことにより歳入歳出それぞれ一、一六〇万円減額し、総額二億〇、八四〇万円となりました。

女子農大生

「牛飼いを体験」

五月二十九日から二週間にわたり、梶金の関正史さん方に、新潟県農業大学畜産科二年の池野奈保美さんが、肉用牛経営部間の営農と生活体験学習を目的として実習をされました。

大学の教育計画に基づき履修した農業に関する知識と経営の実践を先進農家で習得するため、大学の要請により、関さん方で受け入れたものです。

池野さんは、佐渡郡相川町出身で、家では現在肉用牛八五頭(うち繁殖牛四五頭)を飼育しているほか牧草地六ha、水稲五五a、畑一〇aを、おとうさんが獣医のため、これらの仕事はおかさんが行っているそうです。



えさをくれる池野さん

池野さんは関さん方で、朝五時三十分から七時三十分まで、夕方五時から七時までの牛の世話はもちろんのこと、牧草の補植をはじめ、繁殖牛用の草刈などの作業を体験していました。雨の日は牛舎の清掃などをし、また、関さんの配慮で川口町などの畜産農家を見学したり、葦野牧場の放牧時にも姿を見せていました。

七月二十六日(日)は 参議院議員選挙の投票日

第十六回参議院通常選挙が七月八日公示され二十六日(日)に投票が行われます。みんなで、棄権することなく投票いたしましょう。

- 投票用紙の色
「選挙区選出」 薄い黄色
「議員選出」 薄い黄色
「比例代表選出」 白色
「議員選挙」 白色

投票時間は、午前七時から午後六時までです。やむを得ない用務などで、当日投票できない人は、七月八日から二十五日までに役場村民相談室へ不在者投票をしてください。(時間は、午前八時三十分から午後五時まで)



ゲートボール大会

竹沢チーム 上位独占

さる六月一日竹沢郵便局長杯を兼ねる、村ゲートボール連盟主催の大会が山古志中学校グラウンドで行われました。

日ごろ練習を積み重ねて、選抜された八チームが参加しました。当日はさわやかに晴れあがり、絶好のコンディションに。二コートに分かれ予戦リーグ、決勝リーグと熱の入った試合が続いていました。

朝十時から夕方四時まで、昼食休みの一時間を除き、常にきびきびと動き回っていました。結果は次のとおりです。今大会も練習量まずは第一ゲート通過



今日の天気なんだろな競争(種芋原小)

小学校大運動会

サンデースポーツ

六月七日グラウンド工事により延期した東竹沢小を除き、村内の小学校で一斉に大運動会が行われました。

児童数の減少に伴い近年は幼児やお年寄なども加わり、多彩なプログラムが組まれています。また、地域対抗リレーなどに、保護者も児童に負すとハッスルするものも体がいふことをきかず、衰えを認め

三古青年卓球大会

平澤 東さん優勝

六月二十一日山古志中学校体育館で三島・古志郡青年卓球大会が開かれました。

当日の参加は、山古志村と与板町の二チームで、ちよつぱりきみしい大会でした。

開会式で、畔上教育長は「少数の参加で残念ですが、みなさんの体力の向上はもとより、これらのスポーツを通じて友好を深めてください」と祝辞を述べていました。前年度優勝杯の返還が行われ平

各部対抗なわ飛び(虫亀小)

織させられる場面も見られました。天候にも恵まれ、参加者のみなさんは児童と共に楽しい一日を過ごされたのではないのでしょうか。

あなたをの声を県政に知事とのふれあいトーク

県民に開かれた県政を、目指す金子知事が地域住民との対話するため、長岡市で「ふれあいトーク」を開催します。会場への入場や知事への質問は自由です。お気軽にご参加ください。

●日時 七月三十一日(金)午後



団体戦混合ダブルス

澤東さんが「日ごろの成果を発揮し、最後まで堂々と戦います」と力強く宣誓。

団体戦、男女個人戦が行われ、軽快なフットワークをみせながら白球を打ち合っていました。

結果は、団体戦は四対一で与板チームが優勝。個人戦男子は平澤さん(山古志)、女子は山田恵美さん(与板)が優勝されました。

村を明るく……東北電力が街路灯奇麗

東北電力(株)小千谷営業所から山古志村に、街路灯五灯が寄贈されました。

五月二十七日に山田所長が役場を訪れ、明るい村にと村長に目録を手渡されました。七月に開催予定の防犯組合の会議で設置場所が決定されます。

一時三十分～三時三十分

●会場 長岡市 市民体育館(学

●交通 参加を希望される人は直接会場に行くか、村のマイクロバスをご利用ください。

※マイクロバスをご利用の方は七月八日(定員二五人で締め切り)まで、また、発言を希望される人は発言の要旨を十日までに役場総務課(☎五九一三三〇)にご連絡ください。

●マイクロバスのコース 種芋原中道屋(11時30分)→池谷資料館前(11時45分)→榎木入口(11時50分)→木籠繁蔵前(11時55分)→宇賀地橋(11時57分)→梶金丸栄商店(12時)→大内三差路(12時10分)→桂谷バス停(12時13分)→山古志中校門(12時15分)→太田農協虫亀出張所(12時20分) いずれも5分前に集合してください。



繁殖牛の基地 萱峠牧場に33頭放牧

繁殖牛の基地となった村萱峠牧場にさる六月一日放牧が行われました。

今年親牛一八頭、仔牛一四頭、種雄牛一頭の三三頭が放牧され、昨年と同数となりました。青々とした牧草を腹いっぱい食べながら牛たちは今秋の下牧までに大きく成長することでしょう。

当日は、早朝から肥育牛生産組合員が中心となり、それぞれの牛舎からトラックで牛を運び、現地での体重測定や採血検査などに普及所、家畜保健衛生所など関係者の協力により行われました。

この萱峠牧場は、昭和四十六年ごろは乳牛を主体として利用され

人工採卵20組に 取り組む 田中重雄さん

五月下旬から六月上旬にかけて錦鯉の産卵ふ化作業が各地区で盛んに行われていました。

六月八日夜、人工採卵を行って一〇年目になる田中重雄さん(虫亀)方を探ねてみました。

田中重雄さん

また、一時は蘭牛の素牛なども放牧されてきました。近年は素牛(和牛)の高騰などを契機に、農家も素牛確保のため繁殖牛の導入をはじめ、種雄牛の導入とともに、繁殖牛の生産基地として活用されています。

萱峠牧場は眺望もよく観光にも一役買っています。関係者以外には「立ち入り禁止」ですのでご注意ください。

ふるさとの「技」を販売 いがたのふる里展

今年で六回目となる「いがたのふる里展」が六月十一日から十六にかけ、県下五〇の市町村が参加して新潟市の伊勢丹デパートで行われました。

この催しは、農山村と都市との交流を通じ、相互理解を深めようと言う目的で行われたもので、今年も、ふるさとの「技」をメインテーマに開かれ、山古志村も昨年に引き続き参加しました。

参加市町村の魅力を紹介した企画展示をはじめ、産業おこしによる特産品やふる里の手づくりの技や味などバラエティに富んだ数々を持ち寄り、販売しました。

山古志村も特産品として、「こいこく」や「こくしよ」などの缶詰類、「鯉のかんろ煮」や「ぜん

田中さんは今年、五品種、二〇組の親鯉の人工採卵を行う予定でこの日は本命の昭和三色の採卵を佐藤清さんとともに取り組んでいました。これらの作業はいずれも深夜から朝方にかけて行われるため、一―二日おきとなり、今日で三組目とまだ始めたばかりのこのとでした。体力が要求されるこの作業も優秀鯉の誕生を願って当分続きそうです。

心晴れ晴れ にこにこ会 ハイキング

六月十日、軽度の心身障害者などやボランティアで組織されている、にこにこ会のハイキングが行われ、三三人のみなさんが参加されました。

午前十時、昼食を持参して役場に集合。マイクロバスで目的地小

1年ぶりの再会に話しがはずむ

まい煮などのバック商品。「木牛」や「猫ちぐら」などの民芸品を販売しました。

昨年「やまこし店」を訪れた人もなつかしげにまた顔を見せるなど好評で、全体の売上げも昨年を大きく上回りました。

また、体験イベントでは坂牧吉太郎さんによる「わらじづくり」が披露され、昔をなつかしんだり、初めて体験する人などで賑わい、交流を深めることもできました。



千谷市山本山高原へ。山頂には十一時に着き、さっそく展望台に上がり、三六〇度のパノラマを満喫しながらの楽しい昼食。ボランティアのみなさんが作った、とん汁をおかわりして食べていました。

昼食後は、簡単なクイズを行ったり、散策を楽しみ。会員のなかには、ハイキングに来ていた保育所児童と話したり、遊んだりしていた人もいました。天候にも恵ぐまれて楽しい一日となり、心身ともリフレッシュされたことと思います。

参加された星野ミタさんは「この年になって、こんな所に連れて来てもらえるなんて……」と喜びを。ボランティアの小池孝さんは「私達も楽しませていただきました……と、それぞれ語っていました。



★ ★ ★ わが家の スター

幸恵ちゃん

平成元年10月6日生まれ 川上幸治・静枝さん(2女)
—梶金—

末っ子のわがまま娘 さっちゃんです。最近うたうことが好きで、「まけないこと、にげ出さないこと……それがいちばんだいじ」とカセットを聞きながら、たどたどしくうたっています。もしかすると将来、村一番のエンターテイナーに……!

―普及所から― 農改コーナー

稲の生育中後期の管理

現在の生育状況は、草丈は並や短、莖数はやや少く並、葉令は平年並の稲姿になっています。また、幼穂形成期、出穂期は平年より二日、前年より五日遅れる予想になっています。穂肥管理、病害虫管理を適期に実施しましょう。

〈幼穂形成期、出穂期予想〉

(6月16日現在の予測)

品 種	幼穂形成期(月・日)	出穂期(月・日)
トドロキ	7.8	7.31
越路	7.8	7.30
ゆき	7.11	8.3
ココシ	7.16	8.9
五百	7.14	8.6
	7.9	7.31

注①適用移植期
稚苗……5月5日～10日
中苗……5月10日～15日
成苗……5月15日～20日

②農業試験場気象感応圃にもとづく予測です。

③田植え日が五日程度前後すると出穂時期が一日前後します。この予想は平野部の場合です。山古志村ではこの予想より四〜

七日程度遅くなります。
・今後の天候により早まる可能性もありますので注意してください。

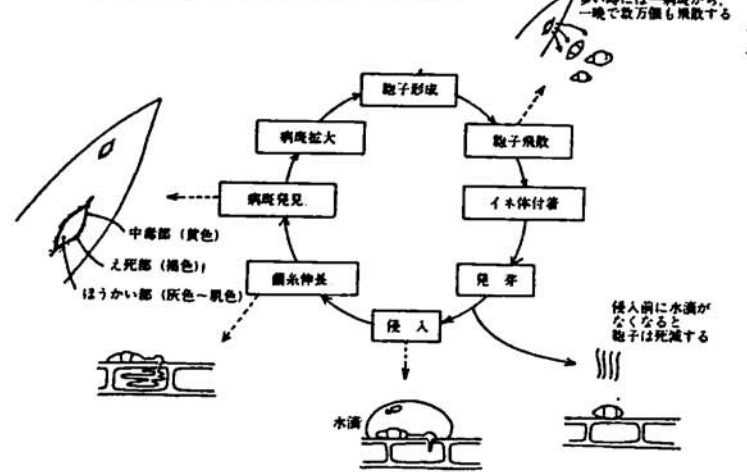
・中間追肥
七月下旬(出穂前三五日)四〇日頃(十アール当たりケイ酸カリ二〇〜四〇kg)を散布します。根を健全に保つ効果があります。ワキの激しい田で特に施肥しましょう。

・穂肥
一回目の時期は、コシヒカリで出穂前十八日、トドロキワセ・ゆきの精で出穂前三三日がめやすです。チソ成分で十アール当たり一〜二kgが基準です。カリと合せて施用しましょう。

〈病害虫対策〉
・いもち病
補植苗は発生源になりますので早急に除去しましょう。

穂肥もちは予防が基本です。出穂直前と穂揃い期頃に粉剤散布するか、コラトップ粒剤を十アール当たり四kgを出穂前十五日頃散布してください。

いもち病はこのサイクルを繰り返して増殖する



診療所の休診
山古志村診療所は「七月三十日と三十一日に休診させていただきます。」

おわびと訂正
先月号の広報に次のような誤りがありました。おわびして訂正いたします。

▼三ページの退任された委員小川先生とあるのは、小川光正さんの間違いでした。

生涯学習情報コーナー No.7 学校五日制と生涯学習

九月から学校週五日制が始まり、毎月第二土曜日が休みになります。この学校週五日制で学校教育は今後大きく変わっていきますが、視点を変えると生涯学習社会実現へ向けての大きな飛躍の機会になると考えることができます。

現在、大人に生涯学習の必要性が叫ばれていますが、これからは子供達にも、自ら興味ある分野を学んだり文化やスポーツ、自然に親しんだりする機会がもっと用意されていくことになりそうです。

ただ、その際に忘れてならないのは、それが子供達にとっての生涯学習であるという点です。成人の生涯学習が、まず自発的に行われ自分自身にとって楽しいものであるのが前提なのと同様に、子供達が学校以外で行う活動は、子供達にとって楽しいものでなければなりません。学校以外では知識を得る楽しみ、文化やスポーツ自然に親しみ楽しみを大いに味わってもらいたいのです。

しかし、子供達が楽しみを得るために誰かが犠牲になるというのはいけません。

家庭の中で父親母親が「家庭サ

ーピス」として子供達に対応する姿勢自体を考え直してはみてはどうでしょう。「家庭サーピス」は往々にして子供達にとっては楽しくても親にとっては楽しくない。休日の夜眠りこけてしまった子どもを背負って疲れはてた顔の親を見ると、親にとっても楽しい時間の過ごし方はないものかと思えます。

子どもは何が本当か楽しいことか分かっている。言いなりになつて遊園地につれていくのではなく父親や母親自身の楽しみである釣りであったり、草野球であったり編み物であったり、料理であったり親と一緒に楽しむべきではないのでしょうか。子供達の楽しみに合わせるのではなく、親の楽しみを子供達にも理解させるーそこから生涯学習時代の新しい親子関係が生まれてくるのではないのでしょうか。

地域においても、一部の熱心な人だけが子供達の世話をするとか当番制で面倒を見るとかの形で地域の青少年活動が行われるのは適当ではありません。住民それぞれが自分の楽しみを生かして子供達と共に活動しているようになること子供達の生涯学習もより充実したものになっていくものと思います。

(生涯学習を考える寺脇研教育委員会月報「四」より)

健康は食生活から

食生活改善 推進協総会



六月十一日新潟県食生活改善推進協議会長岡支部の総会が村民会

館で開かれました。この長岡支部は、長岡市をはじめ栃尾市や三島郡、古志郡の九市町村の食生活改善推進員で組織され、会員数は八四一名です。総会の会場は各市町村持ち回りで行われ、今年山古志村が当番となりました。

当日は、村内の推進員二九名を含む二二一人のみなさんが参加されました。

午前十時三十分から総会が開かれ、来賓として村の坂牧助役をはじめ長岡保健所長や栄養士会長岡支部長が祝辞を述べられました。

その後、「健康にいがた新クロ―バー運動」の推進など、平成四年度事業計画等の審議が行われていました。

午後からは研修会に入り、錦鯉総合センターや特産加工所など施設見学をし、同加工所ではここの缶詰やせんまい煮などをみやげに買いもとめていました。

桂谷地区会場
おばあさんが病気になるってからも言うことに耳を傾け、訴えを否定せず「かあちゃん」と呼ばれるたびに部屋へ足を運び、おばあさんも嫁に面倒を見てもらうのに満足していたのか安心してました。

このように二人の間には厚い信頼関係が出来、おばあさんが亡くなられた後もおかあさんは「介護に悔いがなく頑張れた。今は、おばあさんがいないのがさみしくてたまらない」と言っていました。

このようにして迎える死は、本人にとっても家族にとっても満足のかぎり最期だったと思われそうです。

やはり病気になるってからの関係ではなく、健康な時から家族の輪を作りあげる必要が大切なことではないのでしょうか。

「家庭介護は家族の輪から」
今年二月に桂谷と池谷地区で老いについて話し合う場を設けました。その中で自分が理想的に老いを迎えるには、家族に対しては①温かい気持ちで相手のことを考える②家族内で話し合いの場をつくる③自分の事だけでなく若い人の話にも耳を傾けるなどの心がけが必要だと挙げていました。

結局、自分が満足のいく老いを迎えるには、家族の輪がいかに大切かと言うことがわかります。

そんななかで家族の輪を大切にしたいと、おばあさんを見てきました。おばあさんが健在の時から嫁姑関係が良く、本当の親子のように思われまかりしてしたので、年寄の意見を大切にしながら話し合いを行って

おばあさんが病気になるってからも言うことに耳を傾け、訴えを否定せず「かあちゃん」と呼ばれるたびに部屋へ足を運び、おばあさんも嫁に面倒を見てもらうのに満足していたのか安心してました。

このように二人の間には厚い信頼関係が出来、おばあさんが亡くなられた後もおかあさんは「介護に悔いがなく頑張れた。今は、おばあさんがいないのがさみしくてたまらない」と言っていました。

このようにして迎える死は、本人にとっても家族にとっても満足のかぎり最期だったと思われそうです。

やはり病気になるってからの関係ではなく、健康な時から家族の輪を作りあげる必要が大切なことではないのでしょうか。